

授業科目	医療概論	単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	本校学校長				
科目目標	1. 医療の概念と変遷について理解する。 2. 現在の医療が担っている社会的役割を理解する。 3. 医療者の倫理について学ぶ。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	世界・日本の医療の変遷 先史時代～古代～中世～近代～現代	講義	学校長
	2	2	疾病構造の変化 感染症・栄養不足との闘いから生活習慣病・がんとの闘いへ	講義	
	3	2	日本の保健医療サービス提供体制と医療保険制度	講義	
	4	2	現代求められている医療 在宅・高齢者ケア、救急・災害医療、医療安全	講義	
	5	2	医療者としての倫理 患者中心の医療、生命倫理、患者の権利擁護	講義	
	6	4	いのちの勉強会 臓器移植から命の大切さを考える	研修会参加	
	7	1	終講試験	試験	
評価方法	筆記試験 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 1 医療概論				

授業科目		リハビリテーション		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)		医師（リハビリテーション科医師） 理学療法士（リハビリテーション科理学療法士） 作業療法士（リハビリテーション科作業療法士） 言語聴覚士（リハビリテーション科言語聴覚士）					
科目目標		１．リハビリテーション医学の概念について理解する。 ２．各療法の具体的方法の概要を理解する。					
	回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
医学 リハビリテーション	1	2	リハビリテーション概論 機能評価		講義	医師	
	2	2	脊髄損傷患者のリハビリテーション		講義		
	3	2	脳卒中患者のリハビリテーション		講義		
運動療法	4	2	運動療法とは		講義	理学療法士	
	5	2	片麻痺および一側下肢障害のある患者の移動		演習		
療法 作業	6	2	作業療法とは		講義	作業療法士	
療法 言語	7	2	言語聴覚療法とは		講義	言語聴覚士	
	8	1	終講試験		試験		
評価方法		筆記試験 100 点（リハビリテーション医学 60 点、運動療法 20 点、作業療法 10 点、言語聴覚療法 10 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院					

授業科目	公衆衛生学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	1．公衆衛生に関する統計および制度を理解する。 2．健康を保持増進するための諸条件と組織的な保健活動を理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	公衆衛生とは 公衆衛生の歴史	講義	非常勤講師	
	2	2	公衆衛生の活動対象	講義		
	3	2	公衆衛生のしくみ 制度、国・自治体・専門職の役割、住民との協働	講義		
	4	2	地球規模の環境と健康	講義		
	5	2	生活環境と健康	講義		
	6	2	国際保健活動	講義		
	7	2	保健統計	講義		
	8	2	疾病予防と疫学	講義		
	9	2	感染症対策	講義		
	10	2	母子保健	講義		
	11	2	成人保健	講義		
	12	2	高齢者保健	講義		
	13	2	精神保健	講義		
	14	2	学校保健	講義		
	15	2	まとめ 終講試験	講義・試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 2 公衆衛生 国民衛生の動向					

授業科目	社会福祉		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	1．社会における福祉の動向を理解する。 2．社会保障制度について学び、社会資源の活用方法を理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	社会保障とは 社会保障の役割と機能 社会保障の体系図	講義	非常勤講師	
	2	2	現在社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義		
	3	2	医療保障① 国民健康保険と被用者保険	講義		
	4	2	医療保障② 高齢者医療制度、保険診療のしくみ	講義		
	5	2	介護保障	講義		
	6	2	所得保障① 所得補償制度のしくみ、社会手当、労働保険制度	講義		
	7	2	所得保障② 年金保険制度	講義		
	8	2	公的扶助① 生活保護制度の目的と原理・原則	講義		
	9	2	公的扶助② 生活保護の種類と方法	講義		
	10	2	高齢者福祉の現状とサービス	講義		
	11	2	障害者福祉① 障害者の定義と実態、障害者福祉の理念	講義		
	12	2	障害者福祉② 障害者福祉制度の変遷と改たな法体系の整備	講義		
	13	2	児童家庭福祉の現状とサービス	講義		
	14	2	社会福祉実践と医療・看護との連携	講義		
	15	2	まとめ 終講試験	講義・試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 3 社会保障・社会福祉					

授業科目		関係法規		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)		非常勤講師					
科目目標		1. 保健医療に関する法規や制度を理解し、看護師の責任と義務について学ぶ。					
	回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
	1	2	法の概念		講義	非常勤講師	
	2	2	保健師助産師看護師法と関係法令		講義		
	3	2	医事法 薬事法規		講義		
	4	2	保健衛生法 予防衛生法		講義		
	5	2	社会保険法 福祉法		講義		
	6	2	労働法 学校関係法規		講義		
	7	2	環境法 公害関係法規		講義		
	8	1	終講試験		試験		
評価方法		筆記試験 100 点					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		前島良弘著 看護を学ぶための法と社会保障制度 ふくろう出版					

授業科目		勤労者医療概論		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)		非常勤講師 臨床看護師 本校事務長					
科目目標		1. 勤労者の健康と福祉について、社会の変化と発展の経緯・勤労者の健康対策機関の役割機能の側面から理解する。					
	回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
A	1	2	労働衛生の定義、目的、歴史 我が国における労働衛生の現状		講義	非常勤講師	
	2	2	労働衛生行政組織		講義		
	3	2	労働衛生関連法規と労働衛生の展開		講義		
	4	2	職業性疾患、過重労働による健康障害と勤労者看護		講義		
B	5・6	4	脊髄損傷患者の看護 急性期からリハビリ期までの看護の実際		講義 演習	臨床看護師	
C	7	2	独立行政法人労働者健康安全機構の役割 機構の目的と事業 勤労者医療と労災病院の役割 治療就労両立支援センターの役割		講義	本校事務長	
	8	1	終講試験		試験		
評価方法		筆記試験 100 点（A60 点、B30 点、C10 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		独立行政法人労働者健康安全機構 勤労者医療カリキュラム検討委員会：勤労者医療概論 中央労働災害防止協会 労働衛生のしおり					